



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西元 丈夫

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	51,087	18.9	240	35.3	228	32.5	221	64.9
2023年3月期第2四半期	42,973	100.5	371	46.6	338	56.5	134	23.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 221百万円 (64.9%) 2023年3月期第2四半期 134百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	0.77	
2023年3月期第2四半期	0.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	11,995	7,254	60.5	25.17
2023年3月期	10,757	7,177	66.7	24.90

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,254百万円 2023年3月期 7,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.50	0.50
2024年3月期		0.50			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,300	15.9	580	27.0	460	29.0	450	13.1	1.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	289,747,982 株	2023年3月期	289,747,982 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,535,187 株	2023年3月期	1,533,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	288,213,587 株	2023年3月期2Q	288,215,284 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への分類移行に伴い社会・経済活動の正常化に向けた動きがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、世界的な金融引き締めに伴う海外経済の下振れリスク等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、各国主要銀行の利上げ観測はあるものの、米国経済の動向や地政学的リスク等の影響を背景に高値で推移しております。業績については、当第2四半期末において金価格が一時的に下落したことから棚卸評価損を計上したものの、金・白金族の集荷量が堅調に推移し工場稼働率が高水準で推移したことや、当社主催のオークションでの宝飾品の販売が好調であったことから概ね堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅市場の需要は堅調であるものの、地価高止まりや建築資材の高騰等、事業環境は厳しい状況の下推移いたしました。機械市況においては、外需は米国での金利高や中国経済の景気減退感等から設備投資を様子見る動きがみられ、内需においては、自動車や半導体関連装置は調整局面が継続しており、厳しい事業環境の下推移いたしました。コンテンツ事業においては、温浴施設等で協業を図り販売網の拡充を行った他、人気タイトルのグッズ販売が好調であったことから、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は51,087,450千円(前年同四半期42,973,872千円18.9%増)、営業損益は240,312千円の利益(前年同四半期371,370千円の利益)、経常損益は228,110千円の利益(前年同四半期338,919千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は221,338千円の利益(前年同四半期134,906千円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は48,738,438千円(前年同四半期40,792,794千円)、営業損益は350,116千円の利益(前年同四半期402,475千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は24,330千円(前年同四半期331,405千円)、営業損益は3,595千円の損失(前年同四半期1,717千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は380,048千円(前年同四半期500,675千円)、営業損益は13,009千円の損失(前年同四半期18,275千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は1,945,798千円(前年同四半期1,319,630千円)、営業損益は201,529千円の利益(前年同四半期171,779千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より1,238,085千円増加し、11,995,348千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より1,160,298千円増加し、9,491,015千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(2,374,677千円から2,745,660千円へ370,982千円の増加)、原材料及び貯蔵品の増加(690,460千円から1,588,207千円へ897,746千円の増加)及び仕掛不動産の増加(54,217千円から196,369千円へ142,151千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(3,418,230千円から3,146,738千円へ271,492千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より77,787千円増加し、2,504,332千円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より1,186,197千円増加し、4,388,780千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(1,545,550千円から1,739,960千円へ194,410千円の増加)及び前受金の増加(1,031,219千円から2,063,374千円へ1,032,155千円の増加)であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より25,306千円減少し、352,058千円となりました。

純資産の残高は、前連結会計年度末より77,194千円増加し、7,254,509千円となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より271,492千円減少し、3,146,738千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は219,692千円(前年同四半期は989,985千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益227,492千円及び前受金の増加額1,030,175千円等による資金の増加があったものの、棚卸資産の増加額1,470,193千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は68,510千円(前年同四半期は54,584千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出62,487千円等の資金の減少等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は16,710千円(前年同四半期は199,486千円の獲得)となりました。これは主に配当金の支払額142,196千円等の資金の減少があったものの、短期借入れによる収入208,150千円の資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては2023年11月10日に公表の「2024年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,418,230	3,146,738
売掛金	714,021	685,371
商品及び製品	2,374,677	2,745,660
仕掛品	559,657	616,247
原材料及び貯蔵品	690,460	1,588,207
販売用不動産	387,151	389,874
仕掛不動産	54,217	196,369
預け金	194	194
その他	172,175	162,421
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	8,330,717	9,491,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,007,439	1,008,583
減価償却累計額	△741,951	△751,299
建物及び構築物(純額)	265,488	257,283
機械装置及び運搬具	552,302	556,311
減価償却累計額	△489,859	△500,005
機械装置及び運搬具(純額)	62,442	56,305
土地	1,472,391	1,472,391
その他	156,911	174,586
減価償却累計額	△125,443	△128,189
その他(純額)	31,467	46,397
建設仮勘定	19,739	55,000
有形固定資産合計	1,851,529	1,887,377
無形固定資産		
コンテンツ資産	7,200	7,200
その他	16,466	25,344
無形固定資産合計	23,666	32,544
投資その他の資産		
投資有価証券	110,071	110,071
出資金	120,615	158,148
敷金及び保証金	155,878	150,723
繰延税金資産	159,721	160,403
その他	5,063	5,063
投資その他の資産合計	551,349	584,410
固定資産合計	2,426,545	2,504,332
資産合計	10,757,263	11,995,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,981	186,883
短期借入金	1,545,550	1,739,960
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	69,746	61,851
未払金	28,502	77,412
未払法人税等	7,298	6,835
前受金	1,031,219	2,063,374
契約負債	1,327	2,024
その他	141,958	170,939
解体費用引当金	100,000	29,500
流動負債合計	3,202,583	4,388,780
固定負債		
長期借入金	152,383	127,280
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	2,409	4,674
資産除去債務	207,455	207,455
その他	11,165	8,696
固定負債合計	377,365	352,058
負債合計	3,579,948	4,740,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,148,926	6,148,926
利益剰余金	1,009,824	1,087,055
自己株式	△81,436	△81,472
株主資本合計	7,177,314	7,254,509
純資産合計	7,177,314	7,254,509
負債純資産合計	10,757,263	11,995,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	42,973,872	51,087,450
売上原価	41,575,387	49,447,175
売上総利益	1,398,484	1,640,275
販売費及び一般管理費	1,027,114	1,399,962
営業利益	371,370	240,312
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	10
国庫補助金収入	8,703	8,593
為替差益	—	37,601
その他	2,625	2,552
営業外収益合計	11,342	48,758
営業外費用		
支払利息	5,136	6,765
休山管理費	35,612	48,752
その他	3,044	5,441
営業外費用合計	43,793	60,960
経常利益	338,919	228,110
特別利益		
固定資産売却益	399	197
特別利益合計	399	197
特別損失		
解体費用引当金繰入額	100,000	—
固定資産除却損	—	814
減損損失	198,402	—
特別損失合計	298,402	814
税金等調整前四半期純利益	40,917	227,492
法人税、住民税及び事業税	6,835	6,835
法人税等調整額	△100,825	△681
法人税等合計	△93,989	6,154
四半期純利益	134,906	221,338
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,906	221,338

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	134,906	221,338
四半期包括利益	134,906	221,338
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,906	221,338

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,917	227,492
減価償却費	40,800	28,770
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,344	697
解体費用引当金の増減額	100,000	△70,500
受取利息及び受取配当金	△13	△10
支払利息	5,136	6,765
国庫補助金収入	△8,947	△8,593
有形固定資産売却損益 (△は益)	△399	—
有形固定資産除却損	—	814
減損損失	198,402	—
為替差損益 (△は益)	—	△37,533
売上債権の増減額 (△は増加)	△526,491	28,650
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△247,199	△1,470,193
仕入債務の増減額 (△は減少)	△115,651	△40,097
未払金の増減額 (△は減少)	△1,950	48,909
前受金の増減額 (△は減少)	△326,686	1,030,175
預り金の増減額 (△は減少)	3,623	19,178
その他	△149,537	17,088
小計	△990,341	△218,386
利息及び配当金の受取額	13	6
利息の支払額	△5,135	△6,764
国庫補助金の受取額	8,947	8,593
法人税等の支払額	△3,469	△3,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	△989,985	△219,692
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の払込による支出	△30	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△22,353	△62,487
有形固定資産の売却による収入	440	197
無形固定資産の取得による支出	△7,200	△10,175
敷金及び保証金の回収による収入	912	4,398
敷金及び保証金の差入による支出	△16,354	△443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,584	△68,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	517,500	208,150
長期借入れによる収入	220,000	—
長期借入金返済による支出	△252,143	△46,738
自己株式の取得による支出	△18	△36
配当金の支払額	△283,383	△142,196
リース債務の返済による支出	△2,468	△2,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,486	16,710
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△845,083	△271,492
現金及び現金同等物の期首残高	4,095,519	3,418,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,250,435	3,146,738

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	40,792,794	324,040	499,905	1,319,630	37,501	42,973,872	—
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,365	770	—	—	8,135	△8,135
計	40,792,794	331,405	500,675	1,319,630	37,501	42,982,007	△8,135
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	402,475	△1,717	18,275	171,779	△5,493	585,320	△213,949

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への 売上高	42,973,872
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—
計	42,973,872
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	371,370

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△213,949千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△213,949千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、建物及び構築物の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において198,402千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	48,738,438	16,965	380,048	1,945,798	6,201	51,087,450	—
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,365	—	—	—	7,365	△7,365
計	48,738,438	24,330	380,048	1,945,798	6,201	51,094,815	△7,365
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	350,116	△3,595	△13,009	201,529	△5,245	529,796	△289,484

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への 売上高	51,087,450
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—
計	51,087,450
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	240,312

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△289,484千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△289,484千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。